

大学入門講座 (Introduction to University Education)

大学入門講座 (歯学部) (Introduction to University Education)

(歯 (歯口))

教務委員会委員 / 歯学部

1 単位 前期 集中, 金 集中, 7~ 10

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

【授業の目的】 大学生活全体を通じて自律的な学びの姿勢を確立し, 今後の大学での学びを確かなものにするために, 高校までとは異なった学習の姿勢や方法の概略, 自律的な大学生活を送る方策の概略を把握することを目的とする。

【授業の概要】 本講座は, 大学 (歯学部) での学びを確かなものにするために, 高校までとは異なって, 「教わる授業から自ら学ぶ授業」という学習の姿勢や方法を身につけられるよう構成されている。各講義は, そのテーマに応じて適切な授業方法で行われる。大学では一般に講義形式の授業が主になるが, 本講座では, 講義を聞き, その主題についてノートを取り, グループで討論をし, その経過・まとめを口頭で報告したり文章でレポートすることなどの学習方法も取り入れて実践される。それらを通じて, 「自ら学ぶ」姿勢を身につける準備をして, 今日, 大学生が社会から求められている「知的技法」の一端を身に付けることを目指す。

【到達目標】 以下「【授業の計画】」のテーマについて, その概要や問題点を理解し, 友人たちや教員と討論ができ, 文章としてまとめられること, また皆の前で報告発表ができること。

【授業の計画】

1. 大学での学び方: わからないことがあれば, 情報を収集・整理・分析し, 答えを見つけ, それを発表する。教員が行っている方法を例に, いわゆる'知的生産の技術'の概略を説明する。
2. 図書館やインターネットの活用の仕方: '知的生産の技術'では情報の収集が重要である。その主役を担っている図書館やインターネットの活用の仕方を説明する。
3. 歯科医師, 歯科衛生士になるに必要な心構え: 患者の立場から見た良い歯医者, 歯科衛生士とはどんな歯科医師, 歯科衛生士でしょうか。良い歯科医師, 歯科衛生士になるための心構えは何でしょうか。そのような疑問に対してグループ討議を通して考える。
4. 歯学教育と全学共通教育: 全学共通教育の概略を説明するとともに, 歯学教育における全学共通教育の意義を, グループ討議を通して考える。
5. 大学生活の過ごし方: 安全で快適な学生生活を送るにあたって必要な事項を説明する。また, 良い歯科医師, 歯科衛生士になるために, 勉学以外に何を

すべきかについて考える。

6. 心と体の健康の保ち方: 楽しい学生生活を送るには心と体の健康が必須である。食生活での注意事項, 飲酒と喫煙, 及び性的問題等について議論する。
7. 学生相談室と大学生活: 学生相談室について, その利用の仕方も含め説明する。また, 大学生活で遭遇する様々な人権問題, 悪徳商法から身を守るための方法についても説明する。
8. 課外活動の楽しさと意義: 先輩の体験談を通して, 課外活動の楽しさと意義を考える。
9. 相手の意見を聞き, 相手と協調することを体験学習のなかで学ぶ。
10. 医学・歯学の歴史, 国際医療, 卒業後の進路などについて学ぶ。
11. PBL を体験する (歯学科のみ)。
12. 研究室での生活 (実験など) を体験する (歯学科のみ)。

【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。

【成績評価の方法】 授業への参加の姿勢と到達目標の達成度により評価し, 単位を認定する。

【再試験の有無】 無 (欠席等の場合は, 課題のレポートを課す)

【受講者へのメッセージ】 大学で何を何故学ぶのか常に考え, 快適で有意義な大学生活を過ごしましょう。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220689>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 教務委員会委員